

第 2 回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応

○将来像

No	意見	発言者	対応
1	副都心計画で目指したビジョンの見直しと併せて、これから先の50・100年を見据えたビジョン・あり方を検討する必要がある。テーマ設定については議論が必要だが、気候変動への対策は取り扱うべき項目の一つに挙げられるのではないか。例えば治水対策。50年前の計画と不整合が生じている部分を修正しながら、時代の潮流としてチャレンジすべきテーマを踏まえ、段階的に街を変えていく再整備方針を検討することが重要である。その中でも先行して着手する街区などは、他地区の参考となるような先進的な取り組みを行う必要がある。	岸井会長	気候変動への対応については、資料2p9「現況・課題【都市基盤】(治水対策)」、資料2p12「(参考)地域冷暖房の将来イメージ」で整理を行った。
2	街の再生の進め方として公共空間の再編から着手する方法は考えられる。西新宿で行われている再整備の動きには共通するテーマはなく、各街区がそれぞれ機能・空間を改変しているように感じる。今後の再編にあたっては、低層部を中心に共通した空間像・都市機能を持ち、加えてIT技術なども活用しながら、全体として一体感のある街を目指すのが良いのではないか。		再編にあたっては、低層部を中心とし、一体感のある街を目指す必要があり、これまでの議論を踏まえて、再整備方針案について資料2p22～27「将来像の実現に向けた方針(案)」で整理した。引き続き、検討委員会でのご意見も踏まえて検討していく。
3	WEBアンケートやビッグデータのみでの検証は不十分であると考えている。ビッグデータ等を踏まえた傾向分析はあくまで補足とし、人々の感情など重要な要素については対面のヒアリングなどを実施することが必要ではないか。	吉村委員	将来像の実現にあたっては、対面のヒアリング等も重要であると考えている。資料2p.16「(参考)将来像の実現に向けた段階的な取組」で他地域において社会実験等を段階的・継続的に行っており、こうした取組を通じた利用者の声などを分析するとともにデータ収集に留意しながら、西新宿地区の将来像の実現に結び付けていきたい。
4	ウォークアブルな街を目指すことは世界的な潮流とも合致しているが、その実現に向けた進め方についても議論が必要であり、デジタル技術等を活用しながら、再整備の必要性・効果についてエビデンスを持って検証していく必要がある。データ収集にあたっての対象者に対しては、その公益性を十分に説明する必要がある。		将来像の実現に向けた段階的な取組については、資料2p.16「(参考)将来像の実現に向けた段階的な取組」で整理した。
5	地元エリアマネジメント組織としては、再整備方針の位置づけや内容について、理解し議論していく必要があると考えている。行政を含む関係者間で将来像を共有しながら段階的に進めていきたい。	新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事	
6	関係者との合意形成の問題はあると思うが、短期的な整備内容に留まらず、建て替え時期も見据えた中・長期的な視点で検討を重ねてほしい。街路の高さと建物の1FLと合わせる、閉鎖的な公開空地などは中・長期な目標となると思うが、将来像として盛り込むことが重要であると感じる。	国土交通省都市局街路交通施設課 街路事業調整官	西新宿の将来像を実現にするにあたっては、中・長期的な取組も必要不可欠であると考えており、再整備方針案について、これまでの議論を踏まえて資料2p22～27「将来像の実現に向けた方針(案)」で整理した。引き続き、検討委員会でのご意見も踏まえて検討していく。

○都市機能

No	意見	発言者	対応
7	近接する地区として初台エリアとの連携も考えておきたい。羽田方面から新宿へつながるバスは初台方面から来る。また、初台にはオペラシティがあるものの、アフターオペラを楽しむ要素が欠如している。街自体にも魅力的な場が少ない、またオペラシティ内のテナントについてもレベルが低下している。西新宿に立地するホテルの価値向上を視野に入れると、初台方面も含めた範囲での空間・機能の再編を検討するのがよいのではないか。	池邊委員	ホテル利用者については、資料2p5「現況・課題【都市機能】(宿泊・観光)」で整理を行った。 他地域との連携については、エリアマネジメントのあり方の議論も踏まえて、関係者と連携・調整しながら検討していく。
8	ビジネス・イノベーション機能の強化に力点を置くことに違和感はないが、とはいえ周辺住民・ホテル利用者・来街者など、その他の層が再整備された空間をどのように利用できるのかについても検討する必要があり、平日・休日、昼・夜など時間帯に応じて空間の使われ方まで言及できるとよい。	伊藤副会長	ホテル利用者については、資料2p5「現況・課題【都市機能】(宿泊・観光)」で整理を行った。 再整備された空間利用については、資料2p.8「現況・課題【基盤】(街区・道路)」、資料2p.21「西新宿地区の将来像と再整備のイメージ」で整理した。

○公開空地

No	意見	発言者	対応
9	西新宿エリアの一番の特徴として、都庁が立地していることは大きい。今後の地域・社会との関わり方として都庁・都民広場のあり方を議論すべきであり、その際現状の利用実態・課題を整理すること。	岸井会長	東京都庁・都民広場については、資料2p13「(参考)東京都庁舎、都民広場」で整理した。
10	再整備方針の検討にあたっては、庁舎管理部などの関係部署との調整は別途必要となるが、都庁・都民広場のあり方についても議論を重ねる必要がある。	東京都都市整備局 都市基盤部長	
11	超高層ビル街の公開空地が分散して立地され、それらに連担性がなく、閉鎖的な設えとなっていることは大きな課題である。今後、4号街路を中心に再整備を行うにあたっては、官民連携は当たり前であり、むしろエリアマネジメントも含めた民民の連携が重要になるだろう。全体が連携して一つのつながるオープンスペースをつくることを目指したい。例えば高低差を活かし人々が憩え・バリアフリーとして車いすやベビーカーにも対応した空間として斜面上のオープンスペースを設けるなどの考え方が必要である。	池邊委員	オープンスペースの使われ方については、資料2p.21「西新宿地区の将来像と再整備のイメージ」で整理した。引き続き、検討委員会でのご意見も踏まえて検討していく。
12	オープンスペースの使われ方について、地域の方々がストックを使いやすい空間として整備する旨をより直接的に記載してもよいのではないか。歩行者中心のオープンスペースを創出することの効果・有益性を事例等も示しながらメリットを伝えることが必要ではないか。	小嶋委員	

○道路再編・モビリティ

No	意見	発言者	対応
13	道路空間の再編にあたっては、将来的な歩行者・車両の流動等への影響を十分に精査するなど、より具体的な検討を重ねる必要がある。	小嶋委員	道路空間の再編については、歩行者交通量調査の結果も踏まえて将来の道路機能の担保等を検討するなど、関係者と連携・調整しながら検討していく。
14	歩行者中心とすることにより、本来必要な道路の機能が欠如することが無いよう、十分に検討してほしい。将来像の実現と道路としての機能を担保の両面で考えていく必要がある。	警視庁交通部 交通規制課 都市交通管理室長	
15	4号街路等の道路空間の再編にあたり、電動キックボード等の次世代モビリティ(電動キックボード等)の導入などが検討されているが、今後の議論に向け再編イメージの具体化を早々に進めてほしい。次世代モビリティの導入にあたり、専用通行帯を設けるのか、歩行者と混在型にするか等も含め検討を深度化してほしい。	東京都建設局 企画担当部長	次世代モビリティについては、道路空間の再編の議論や新宿駅直近地区の動向も踏まえて、関係者と連携・調整しながら検討していく。
16	新宿駅西口広場を歩行者中心の空間として再編することが計画されているが、次世代モビリティの導入も視野に入れ、整備内容を具体化していく必要がある。	岸井会長	
17	人々の交通モードの変化等により供給過多となっている都道下の公共駐車場についても活用の方針を検討していく必要がある。		都道下の公共駐車場については、道路空間の有り方の議論も踏まえて、関係者と連携・調整しながら検討していく。

○エリアマネジメント・維持管理

No	意見	発言者	対応
18	4号街路地上部については、大学等が立地しているものの、喫茶など気軽に入れる店舗が不足しているおり、居心地の良い環境ではない。またファッション系の学校と連携したイベントとしてファッションショーを街中で実施するなど大学も含めたエリアマネジメントのあり方についても検討してほしい。	池邊委員	エリアマネジメントのあり方については、組織体制や運営スキームなど、関係者と連携・調整しながら検討していく。
19	再整備にあたっての資金調達についても真剣に議論する必要がある。世界的に注目されているグリーンボンドやグリーンファイナンスSDGsなど環境貢献に資する投資をいかに投入できるかが重要である。		
20	4号街路等の道路空間の再編に向けた今後の検討にあたっては、具体の整備イメージも踏まえながら、維持管理の仕組み等も含め議論を重ねたい。	東京都建設局 道路保全担当部長	維持管理の仕組みについては、エリアマネジメントのあり方の議論も踏まえて、関係者と連携・調整しながら検討していく。